

# **5. 米国政権の政策**

**(核不拡散、核セキュリティ等)**

**日本原子力研究開発機構  
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター  
計画管理・政策調査室**

# 大統領、副大統領

第47代大統領  
ドナルド・トランプ  
(Donald Trump)



第50代副大統領  
J.D. ヴァンス  
(James David Vance)



- 1946年生まれ。ニューヨーク州クィーンズ出身。ペンシルバニア大学ウォートン・スクール卒業（経済学）
- 1968年、父が経営する不動産開発会社に入社、主にN.Yの不動産開発事業に携わる。1971年、父から社長の座を譲られ、社名をトランプ・オーガナイゼーションに変更
- 2004～2015年:リアリティ番組「アプレントイス」をプロデュース・出演。
- 2015年、大統領選への出馬を表明、2016年の大統領選で民主党のヒラリー・クリントン氏に勝利
- 2017年1月、第45第米国大統領に就任
- 2020年、大統領選で民主党のジョー・バイデン氏に敗北
- 2024年、大統領選で民主党のカマラ・ハリス氏に勝利
- 2025年1月、第47代米国大統領に就任

- 1984年生まれ。オハイオ州、ミドルタウン出身、高校卒業後に海兵隊に入隊、2005年、イラクに派遣される
- 除隊後にオハイオ州立大学卒業(2009年)、イェール大学ロースクールで法学博士取得。シリコンバレーで投資会社の社長に就任
- 2016年、自叙伝「ヒルビリー・エレジー アメリカの繁栄から取り残された白人たち」を発表、同書はベストセラーとなる
- 2022年の中間選挙でトランプ氏の支持を受け、民主党候補を破り上院議員選に勝利。2023年1月から上院議員を務める
- 2024年7月、共和党大会でトランプ氏と共に共和党の正副大統領候補に指名される
- 2025年1月、第50代米国副大統領に就任

# 国務長官、エネルギー長官、大統領補佐官

国務省(DOS)長官  
マルコ・ルビオ (Marco Rubio)



- 議会上院議員。1971年生まれ、フロリダ州、マイアミ出身の乗員議員。両親はキューバからの移民。フロリダ大学及びマイアミ大学ロースクール卒業(1996年、法学博士)
- ロースクール卒業後、ウェスト・マイアミ市の市政委員となり、2000年、フロリダ州議会選に当選。2006～2008年、フロリダ州議会議長を務める
- 2010年の米国上院議員選(フロリダ州選出)に勝利、上院議員となる。2016年の共和党大統領予備選に出馬したがトランプ氏に敗北し、以降トランプ氏の支持に回る。
- 外交政策では、イラン、露国、北朝鮮及び北朝鮮に対し厳しい姿勢を主張。ウクライナ支援には懐疑的と言われる。日本や中国を含む東アジア通としても知られる。米シンクタンクの「アメリカ新世紀プロジェクト」のメンバーが外交政策の顧問となっている。
- <https://www.rubio.senate.gov/about/#bio>、他

エネルギー省(DOE)長官  
クリス・ライト (Chris Wright)



- 北米で2番目に大きな水圧破碎企業である Liberty EnergyのCEO
- 1965年、コロラド州生まれ、MITで機械工学の学士取得、カリフォルニア大学バークレー校とMITで電気工学の修士号取得
- 1992年に Pinnacle Technologies を設立、水圧破碎によるシェールガスの商業生産基盤を確立し、その後、2011年、Liberty Energyを設立し、CEOとなる。気候変動危機の否定論者として知られる
- 次世代のSMR企業であるOklo Inc.及び世界的な金属鉱業会社であるEMX Royalty のCEOも務める
- 上院エネルギー・天然資源委員会での指名承認公聴会(1/15)ではLNG生産の重要性と新たな原子力開発の可能性を強調した
- <https://libertyenergy.com/about/leadership/>

大統領補佐官(国家安全保障担当)  
マイケル・ウォルツ (Michael Waltz)



- 議会下院議員。1974年生まれ、フロリダ州出身。Virginia Military Instituteで学士号取得、米国陸軍に入隊、陸軍及び州兵として27年間軍務に従事。陸軍では特殊部隊にも所属し、アフガニスタン、中東、アフリカでの戦闘に参加、ブッシュ(子)政権下のラムズフェルド及びゲイツ国防長官の下で防衛政策担当ディレクターを歴任
- 2018, 2020, 2022及び2024年の下院議員選に勝利し、下院議員を歴任。第118会期米国議会では、下院軍事委員会の即応力小委員会委員長を務めた。対中強硬派として知られ、ウクライナ支援には慎重姿勢と言われる
- 議会承認不要、<https://waltz.house.gov/>